



### 冬将軍の到来を前に 準備万端 シルバー人材センターで雪囲い講習会

11月13日、町シルバー人材センターの主催により、お年寄りを対象に雪囲い講習会が老人福祉センターで開催されました。この講習会は会員たちの技術の向上を目的に毎年この時期に行われているもので、今年で3回目。約50名の参加者たちは、事前に1時間ほど縄の結び方などを練習した後、庭に植えられている松の木を題材に、講師の石倉亮さんの指導を受けながら作業に取りかかり、一生懸命練習に励みました。シルバー人材センターでは、草刈りや庭木の剪定、雪囲い、ふすまや障子の張り替え、清掃などの仕事を請け負っています。お仕事お待ちしています。▶問い合わせ シルバー人材センター ☎385-5211(サンウイング館内)



### 農業を営む全国の女性たちが意見交換 「農村で頑張る女性たちの集い」開催

10月25日・26日、「農村で頑張る女性たちの集い」が横越町で開催されました。この集いは、平成9年に全国農業会議所の女性海外研修に参加した人たちが中心となって、農業で頑張っている女性たちと交流を深める目的で毎年全国を廻って行っているもので、今年で3回目。25日は、役場で意見交換会が行われ、県外の農業を営む女性7名を含む約30名が出席。直売所や農産物の加工方法、農村女性の活動などについて話し合いました。26日には、沢海のAFカガヤキ農園の直売所などを視察(左写真)。経営方針や生産コスト、売上、農業への女性の関わり方、それぞれの農園で抱えている悩みなどについて活発に意見を交わし、交流を深めました。

### 先輩たちの成長をずっと見守ってきた球根 親子と一緒に今年も植え付け

11月14日、秋晴れの中、横越小学校近くの田んぼで、5年生116名とその保護者たちによって、チューリップの球根1万1千球が一つ一つ丁寧に植えられました。この球根は、これまで先輩たちが植えてきた球根を代々受け継いできたものです。この企画は、町の花であるチューリップの栽培を通して、子どもたちに花を育てる喜びを感じてもらい、親子の交流と子どもたちのやさしい心を育てることを目的にPTAが中心となって始められたもので、今年で3回目。来年5月には6年生になった子どもたちが自ら花を摘み、50cm角の布に花の色を染めて黄色いコサージュを作り、それを胸につけて再来年春の卒業式に臨む予定です。



### 磐越道沿線都市観光物産展で あまくておいしい横越産の梨 大盛況

10月29日、磐越自動車道沿線都市交流会議の主催による観光物産展が、新津市市制施行50周年記念新津市産業祭と同じ会場の新津市市民会館で開催されました。物産展では、シルク製品やこけし、吟醸酒など、各沿線都市の観光特産品が多数販売されたほか、伝統民芸品製作体験コーナーでは、訪れた人が職人さんから指導を受けながら、実際に赤べこやまゆ玉芸などを体験し、世界で一つの自分の作品を作っていました。横越町コーナーでは、大きくおいしそうに色づいた横越特産の梨「新高」を試食した方々から「甘くておいしい」と大変好評で、用意した100個は1時間弱で完売しました。



### 日頃感じる男女の役割などの疑問を議論 『女と男』ふれ愛フェスタ2000ワークショップ開催

11月18日、サンウイング横越を会場に、『女と男』ふれ愛フェスタ2000ワークショップが開催され、町内外から約25名が参加。この催しは、男女が共に責任を持って支え合う「男女共同参画社会」の実現に向け、職場や家庭などで日頃感じる男女の役割や立場などの疑問を話し合うことを目的に開かれたものでした。横越町保育士の高木剛さんを講師に「女性の職場で働く男性の気持ち」と題して講演があり、保育士希望の理由や職場での自身の気持ち、家庭での家事分担などについて語った後、「家庭や職場での男女の役割の違いはあるか、役割は個人の能力や資質によるものか」などをグループに分かれて議論し、活発に意見交換を行いました。

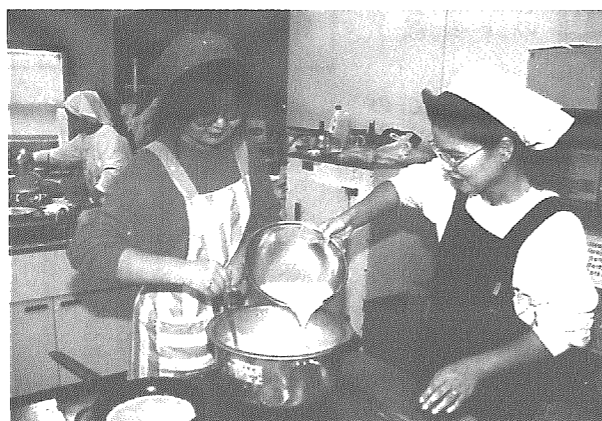


### 子どもたちの健やかな成長を目指して 茨城県美浦村へPTA交流

10月7日と8日の2日間、姉妹都市茨城県美浦村を横越町連合PTA(田村泰一会長)総勢16名が訪問し、美浦村PTAの役員の方々と意見交換・交流会を持ちました。この度の交流会は、昨年秋の美浦村PTA連絡協議会の来町を受けてのもので、当町PTAとしては初めての訪問でした。相互の訪問交流を通して、子どもたちの健やかな成長を目指して、両町村の子どもたちのためにPTAとして今何をすべきかについて活発な意見が交わされ、大変有意義な2日間となりました。今後も定期的な交流につなげ、両町村のPTA活動がさらに充実することが期待されます。

### 町内産の新鮮な牛乳を使った料理講習会 いつもと一味違った料理に舌鼓!

11月21日、農村環境改善センターで「町内産牛乳を使った料理講習会」が開催され、17名が参加。主催した横越町農村地域生活アドバイザーでは、町内産の食材の良さを知ってもらおうと、昨年度はみそ作り、今年度は、年間約4,000トンの牛乳が生産される当町は県内有数の産地ということで、町内産牛乳を食材に企画しました。この講習会で、エプロン、三角巾姿の参加者たちはレシピを見ながら、当日の朝に搾ったばかりの新鮮な牛乳を使って、シチューとオムレツ、蒸しプリンを楽しく作り、いつもと一味違ったおいしい料理を味わいました。主催者では、町内産の食材を使った料理講習会を、今後も続けていきたいと話していました。



### みほ産業文化フェスティバル開催 今年も大盛況 横越町コーナー

11月1日から5日まで、姉妹都市茨城県美浦村で第23回みほ産業文化フェスティバルが開催され、芸能発表会や音楽フェスティバル、農業漁業祭、映画祭、作品展示など様々な催しが行われました。今年も、本町から農政商工課長をはじめ、JA亀田郷みなみや町商工会、各生産団体等総勢22名が参加。3日に開かれた横越町コーナーには、野菜、梨、チューリップの球根、農産物加工品、サケの味噌漬けなど町特産品が並び、長芋や焼肉のたれなどが品切れとなるなど大盛況でした。また、前日の2日には美浦村のみなさんから温かい歓迎会を催していただき、交流を深めることのできた2日間となりました。

